



1964年日本音楽集団の創立に参加、打楽器奏者・指揮者として活動集団の定期演奏会、学校公演や放送、CD録音、演劇など広い分野で活躍。団の海外公演にも十数回参加、1992年NPO法人日本音楽集団代表となる。2003年NPO法人邦楽指導者ネットワーク21代表理事となる。

ごあいさつ

“蓼科での合奏講習会

代表理事 田村拓男

リゾートホテル蓼科での第13回合奏講習会は前回大好評だった尺八演奏家・作曲家の宮田耕八朗氏を再びお招きし実施致しました。氏の流派にとらわれない画期的な尺八・箏・三味線の新手法の指導と指揮のテクニックには側で見ていた私もその才人ぶりには頷けるものがあり、今後の邦楽界にとって氏の存在は益々大きくなる予感がします。

参加者は各地から集まった多くのグループの「競演～共演～協演」が繰り広げられお互いに大きな刺激を受け合いました。一人の先生が多くの生徒さんを抱え込むのではなく、生徒さんはいろいろな先生方との出会いの機会が持てるというあり方。これぞNPO法人邦楽指導者ネットワーク21だと思います。第14回合奏講習会は平成30年6月2日～3日多くの方々の要望に応え、長野県リゾートホテル蓼科にて特別ゲストに宮田耕八朗氏を再度お迎えして開催予定です。今回参加できなかった方は是非「目から鱗」の演奏テクニックを学び柔軟な発想力を身につけて頂きたいと願っております。

ご案内

第14回合奏講習会 リゾートホテル蓼科



蓼科湖畔に佇むホテルには、彫刻公園が併設され、心地よい清風と静寂な空間に心を癒されます。

美しい自然と和の響きに包まれて、「感動」のときを満喫しましょう。

特別ゲスト

宮田耕八朗先生

日時： 平成30年6月2日(土)～6月3日(日)

場所： リゾートホテル蓼科 <http://resort-hotel-tateshina.jp>

〒391-0395 長野県茅野市北山 4035



山口県 佐藤眞由美

伝統文化箏子ども教室下関は、市内2カ所で行っており、全部で15名程教えています。月に2回のお稽古ですが、みんな熱心で上達も早く、今年6月から始めたばかりの子どもも含め、10月には市の邦楽大会にも出演しようとして頑張っています。子ども教室では、演奏だけでなく、挨拶やお行儀なども指導しています。



愛媛県 向井正次郎

今年も、愛媛県伊予市の伊予小学校校区で尺八・琴親子教室を開催しています。今年で4年目になり、保護者の方も仲間意識が強まり、皆さんで尺八と琴の世界を楽しまれています。只、今年の募集に対して新規の参加者が居なくて困っている状況です。そこで、5月には皆さんと相談して、伊予小学校校区以外にも案内をすることにしました。



静岡県 佐野 妙子

祥の会伝統文化親子教室 今年18名です。男子が1名 貴重な存在で～す。初めの一步を 始めから カエルの歌まで 勉強し 今は、さくらさくらと富士さんを勉強中です。暗譜で弾ける様頑張っています。9月に地域の 敬老会で披露するからです。



熊本県 古川 郁代

熊本箏演奏者協会(会員22名)主催による全国ジュニアコンクールを隔年に開催して今年で9回目を迎えます。助成金の削減等厳しい状況の中、次代を担う子供達の為、この催しは何としても継続したいとの思いから、資金を募る為に数年前から「伝統を未来へ」と銘打った演奏会を始めました。今年も6月18日に高麗の春、樹冠、五節の舞、等全8曲の演奏会を行い、8月20日に無事ジュニアコンクールを開催します。



愛知県 山本明由子

平成26年度より名古屋市千種区内の2校の小学校(放課後特別活動室)にて、「伝統文化親子お琴教室」と放課後教室の「こどもお琴教室」を行なっています。「さくらさくら」「かぞえうた」「花かげ」など日本の古謡や童謡を練習し、最後に発表の場として学区内のデイサービスセンターをお借りし、ご利用者や保護者の方々に演奏を披露しています。保護者のみならずご利用者の年配の方にも、とても好評を得ています。



東京都 仲林光子

東京都中央区阪本小学校の授業と課外で邦楽指導を行なっている桐の会の活動報告をいたします。桐の会のメンバーは現在5名。もと音楽教諭、民間の邦楽指導者が子供達と向き合い、邦楽器の指導を行なっています。箏、十七弦、三味線、笛、太鼓、鼓、大鼓等広範囲の邦楽器を教えます。毎年、TBS こども音楽コンクールに出場させ、入賞多数。今年も7月末のコンクールに向けてメンバーは活気に満ちた日々を過ごしております。



山口県

佐藤眞由美



熊本県

古川郁代



愛媛県

向井正次郎



愛知県

山本明由子



静岡県

佐野 妙子



福島県

後藤礼子



東京都

柴田裕子



仲林光子



門傳良男



今藤政智



原田眞樹子

東京都 原田眞樹子

初めての時の1年生の子が、高校2年になって通っていて、月日の速さに驚いています。昨年から調布市の小学校の音楽の授業でも箏を教え、地域の音楽会にも呼ばれました。校長先生が「この学校の子たちだよね？」と聞くほど、座奏で弾く姿が堂々としていたようです。今年も「上手に弾けるより、箏の音色を楽しもう」をモットーに、18人の子たちとの一期一会を味わっていきます。

東京都 柴田裕子

『調布三曲協会創立 55 周年記念演奏会』、平成 29 年 4 月 2 日念願であった「夏の一日」を演奏するため、宮越圭子先生に箏・十七絃の指導を、宮田耕八朗先生には合奏指導をお願いし、曲想・リズム・指使いと丁寧なアドバイスを頂き何度も練習を重ねました。お二人のご指導を受ける事ができたのは、贅沢で幸せな経験でした。ご指導のお陰で会員の熱意がお客様に伝わり、心に残る演奏になりました。



東京都 今藤政智

豊島区立南池袋小学校で親子三味線教室をしています。こちらの学校は伝統文化に大変ご理解のある中村雅子校長先生をはじめ、副校長先生や音楽の先生のサポート力も強く、さらにお茶室のある広々とした和室という最高に恵まれた環境でお稽古させていただいています。みんな元気で礼儀正しく、目をキラキラさせ「さくら」と長唄の「越後獅子」という曲を発表会に向けて練習中です。



福島県 後藤札子 一地域の活性化をめざして

7 月 8 日土曜日、郡山市公会堂にて「サマーコンサート」を開催しました。出演者は小学生から成人（70 才）。福島県内から 200 名をこえるお客様に来ていただきました。古典離れの現在なので、地元のフルートの先生にご協力いただき、和と洋のコラボでお箏を身近に感じてもらえればと企画しました。お客様には大変喜んでいただき、大変盛り上がりました。曲目…千本桜、フルート協奏曲、まりと殿さま、春の海など



東京都 門傳良男

「調布箏尺八親子教室」は土曜放課後教室（尺八）も実施してます。親子教室では、布田小学校での親子箏尺八教室と中学校での土曜放課後教室も行っています。親子教室は小中学生と親 4 人の 1 2 名で 6 月から開始。放課後教室は中学校の尺八部で、3 年生と 2 年生の計 8 名が教科外の時間帯での活動です。主に木曜日が活動日で、5 月から 1 月までで 25 回、親子教室は 20 回の開催予定です。10 月 29 日には、「布田地域ワクワクひろば祭り」に参加予定です。今年 3 月に卒業した尺八部の部長だった S 君は長年の地域福祉活動が認められ、平成 28 年度調布市青少年表彰を受賞しました。



熊本県 民謡竹峰流



竹峰流宗家 二代目福島竹峰

皆様こんにちは。民謡竹峰流家元 福島竹峰でございます。貴会にお仲間入りさせていただき楽しく活動しております。お蔭様で門弟が文化庁「伝統文化親子教室」を二年連続で実施しております。

竹峰流は本年、創立 45 周年の運びとなりました。昨年 4 月に発生しました熊本地震では甚大な被害をうけられ、まだまだ復興途上です。

私達民謡仲間も家をなくし、仕事をなくし、ショックから体調を崩したものの等本当に言葉にならない不安と喪失感に苛まれた一年でした。そんな中創立 45 周年大会開催に踏み切る事には不安もありましたが、「民謡があるから生き甲斐を見いだした。民謡に救われた」との声を聞き、こういう時だからこそ、心の故郷民謡の力を信じ、間や県民の皆さま方に元気と勇気と地震に負けない希望を見出だしていただきたく【故郷熊本に届け！こころの唄 復興への道・民謡の力】を開催する運びとなりました。華やかな唄と踊りは、言うまでもなく今回は、特に地震をテーマにした復興ソングや西原村の白山姫神社の復興舞、舞台劇【櫻紅葉】等。またゲストに地震で阿蘇の劇場を無くされた玄海竜二さん、東京から若手民謡歌手の清野明子さん等、唄に踊りに素晴らしい演奏にショーといった泣き笑いの日を企画致しております。

“竹峰流創立 45 周年大会” 「ふるさと 熊本にとどけ 心の唄！ 復興への道・民謡の力」

日時 平成 29 年 10 月 1 日（日）
10:00 開演
会場 熊本県立劇場演劇ホール

【新会員ご紹介】

今藤政智 伝統楽器の良さを伝えることは演奏家の使命！



この度はご縁がありまして、当会のお仲間に入れていただきました今藤政智と申します。私は長唄の三味線を演奏しています。舞台での演奏活動の他に、数年前からは中学高校など教育の場にも関わる機会が増えて参りました。伝統楽器の良さを伝えることは、演奏家の使命と思っております。皆様と共に活動出来ますことを嬉しく思います。
NHK 邦楽技能者育成会 37 期卒 国立音大卒・今藤政太郎に師事

川端 都 子供の一言がきっかけでおことを再開



この度新会員になりました川崎市の川端 都です。子供の出産後、しばらくお休みをしていました。子供の一言がきっかけでおことを再開することができました。きっかけをくれた娘とともに練習に励んでいます。親子で成長していけるようにがんばります。そしてこれを機に地域の小学生へ、親子教室でおことを教えることができるようになりました。おことの魅力や演奏する楽しさを伝えていきたいと思っております。
NHK 邦楽技能者育成会 45 期卒 渡辺泰子に師事

村田美香 目標は日野で子供教室を開くこと



この度、邦楽指導者ネットワーク会員になりました。日野市の村田美香です。どうぞよろしくお願いたします。目標は日野で子供教室を開くことです。第 1 3 回合奏講習会は参加を迷いましたが、現状を変えたいという思いで参加しました。合宿では、朝から夜まで箏の練習に明け暮れる中で、皆様の邦楽に対する情熱を感じ、新たな気持ちで箏に取り組むことができました。参加された皆様との交流も大きな財産となりました。諸先輩方にアドバイスを頂きながら、これからも邁進していきたいと思っております。
米村亜紀・宮田耕八朗に師事

【評議委員の抱負】

29 年度評議員代表

前田香織 邦楽がより身近に多くの方に楽しんでいただけるよう



この度、評議委員を務めることになりました、埼玉支部の前田です。先日の合奏講習会は楽しく参加させて頂きました。お箏を始めたきっかけは中学校の部活動です。現在は地元の様々なイベントに出演したり、体験教室の講師を務めております。今後も、ミュージックナイチンゲール等の活動を通して、邦楽がより身近なものとして多くの方に楽しんでいただけるよう続けていきたいと思っております。評議委員の仕事は初めてで慣れない部分も多く、皆様にはご迷惑をお掛けしてしまうかもしれませんが、力の限りを尽くす決意です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

【支援団体ご紹介】

熊本支部代表 古川郁代 TEL0963-64-9304	狛江支部代表 渡辺実 TEL03-3480-0845	山口支部代表 松崎妙子 TEL0832-41-1315	加茂支部代表 高橋 理香 TEL0256-52-2555	八王子支部代表 小林千恵子 TEL042-679-4920
鳳竹会代表 高野義彦 TEL042-486-4472	榎の会代表 鈴木晴椰 TEL0794-38-0216	箏糸会代表 今村慶子 TEL0725-54-2871	日本文化の会代表 戸塚順子 TEL048-758-1695	彩楓会代表 佐藤友相 TEL052-705-1124
邦友会琴音楽教室代表 石森康雄 TEL042-483-3767	箏音楽合奏団指揮者 石森康雄 TEL042-483-3767	箏曲妙の会代表 佐野 妙子 TEL0544-58-0571	桐音会代表 後藤 礼子 TEL0248-75-4663	箏曲明由の会代表 山本明由子 TEL052-757-3455
箏曲恭音会代表 坂本恭子 TEL03-3764-0673	彩音会代表 菅原 綾子 TEL0235-66-2188	みなの会代表 原田真樹子 TEL042-485-3379	夢の会代表 田代せつ子 TEL03-3300-5771	箏曲あさの会代表 望月亜紗子 TEL090-1505-6994
峰の会代表 下地美咲子 TEL098-877-9500	咲峰の会代表 伊良波 咲峰 TEL090-9787-3338	鶴鳳会代表 向井正次郎 TEL089-982-6130	(学)小牧幼稚園園長 小林牧江 TEL048-985-4890	民謡竹峰流宗家 福島竹峰 TEL096-369-1756
箏曲翔の会代表 坂田翔祐 TEL025-246-2677	三鈴会代表 原 さとみ TEL090-9372-5694	桐の会代表 仲林光子 TEL042-921-2687	箏曲都の音会代表 川端 都 TEL090-9157-7555	宮城野楽器店代表 白澤功 TEL044-922-3439
山形屋琴三絃店代表 日原仁 TEL055-252-2110	㈱サトウ楽器代表 佐藤松夫 TEL048-754-6897	(有)明鏡楽器代表 渡辺 嬢 TEL03-3623-6349	(有)琴光堂和楽器店代表 中島昌之 TEL0266-52-2341	㈱千代田第一工業会長 鈴木達雄 TEL03-3488-4211

ー 羽田野歌子の思い出ポケット ー

小林麻央さんが亡くなられた、というニュースは、たくさんの方々に衝撃と悲しみをもたらしました。私も、長く古典芸能の仕事に携わってきたことから、歌舞伎の世界の方々ともいろいろな形でお付き合いをさせていただきました。今回は、少し趣向を変え、ジャンルの異なる歌舞伎の名人についてお話させていただきます。

思い出の名人 中村勘三郎



17代中村勘三郎。先ごろ亡くなった勘三郎さんの父に当たる方です。歌舞伎の世界では中村屋、と屋号で称されていますが、芝居には、何とも言えない愛嬌があり、踊りもうまい大名優でした。が、舞台を離れると素顔の中村屋には全く異なる一面がありました。気むつかしく気分屋で、気が乗らないとまったく動いていただけません。名前をお呼びするにも、「勘三郎さん」ではだめで、「中村屋」か、「先生」でないと返事をしていただけません。ですから、収録のある時は、スタジオいりの前から、今日のご機嫌がよいかどうかと、スタッフは本当にピリピリしておりました。NHKでは、収録の前に、衣装を着けて本番通りにリハーサルをすることになっていますが、ご機嫌のわるい時には浴衣で、舞台の立ち位置だけでほとんど踊りのふりを見せてくださりません。これでどうなるのか、と心配になりますが、いったん本番が始まるとさっきまでの不機嫌が嘘のように、素晴らしい舞踊を演じられるのですから、本当に不思議な方でした。その勘三郎さんが、目の中に入れても痛くないほどに可愛がっておられたのが、先代の勘九郎さん。後の18代中村勘三郎さんでした。つづく

ー 西角井 正大の ひとつとふたこと ー

今日は歓楽の巷はカラオケばかりで、「流し」という風俗がほとんど姿を消してしまいました。いつ頃からそうなったかは覚えていませんが、多分4-50年も前のことになるかも知れませんが、ドーナツ版のレコードをたくさん納めた大きなミュージック・ボックスの時代から始まって、8トラックのテープが幅を利かすようになりますが、まだTVディスプレイに歌詞が現れるようなところまでは行ってなくて、歌詞本を見ながら歌ったものでした。「流し」のころは、ギターを抱えた「流し」と呼ばれた歌手が、小料理屋の暖簾やバーの扉を開けて客に「1曲、如何ですか」と声を掛け、3曲1000円くらいで、自分も歌い、客の歌の伴奏をしたりしていました。「流し」は自分の修練の場でもあって、ここからプロも育って行ったようです。歌はほとんどが歌謡曲で、流行歌とも呼ばれていました。

「流し」の風習は江戸時代からあったもので、粋な三味線曲の「新内流し」が有名でした。昭和40年代のことでしたが、もう無いと思っていた「新内流し」を新橋の烏杜の飲み屋の2階で耳にして耳を疑うほど吃驚したことがありました。年の瀬近くの寒い晩でした。「さすが、烏杜」と感心して窓を開けたのですが、暗闇で姿は見えませんでした。直ぐにも外に出て探せばよかったに後悔しています。

「流し」の琴／「法界屋」のこと

ところで琴の「流し」があったことはすっかり忘れられています。江戸後期に大坂で起り、明治中頃には東京だけでなく全国的に広まっていたようです。もっとも琴だけでなく三味線・胡弓・尺八・太鼓などとの賑やかな合奏で、派手な衣装を着て法善寺横町や花街を流し歩いたと云います。客が付くまでは「跡の五本松」を演奏しながら歩いていと云い、「法界屋」と呼ばれていました。長崎に渡来した「九連環」という知恵の輪のような玩具があって中国の明清楽を奏で歌いながらおもしろおかしく環解きしてみせ、素人にはちょうど昨今はやったルービックキューブの色合わせのように難しいものだから♪「不開(ホーカイ)、不開(ホーカイ)」と囃ことば入れて見物の興を誘い、その囃ことばが流行ってこの流しの連中を「ホーカイ屋」と呼ぶようになったと云われています。初めは長崎らしく「月琴流し」だったのですが「法界節」と書かれることになったのは多分歌舞伎の「双面(ふたおもて)」の怪異な主人公の法界坊に因んだのではないのでしょうか。この「九連環」の歌と踊りが、日航機が墜落した御巢鷹山の麓の上野村に残っていて、



明治中頃の「法界屋」

たまたま友人に面倒見を頼まれたマサチューセッツ工科大学の若い先生を連れて行ったことがあります。すぐくノりのよい先生で吃驚しました。

いつも古事記とか日本書紀、或いは源氏物語とか古い内容ばかりでしたから、近現代の話題にしてみました。

第13回合奏講習会 in 蓼科に参加して

平成29年6月3日(土)～6月4日(日) 於リゾートホテル蓼科

ビデオカメラで

我が振りなおせ
風間禅寿

今回の合宿では去年よりも磨きのかかった演奏や歳の近い方も参加され、大変刺激的でした。他人の演奏を見ることが非常に勉強になり、いいと思ったものは積極的に取り入れ、よくないと感じたことを自分も気を付けようと思うことができます。先生方の指導の仕方や音楽の捉え方なども大変勉強になりました。ありがとうございました。



楽しく勉強できました。

青木浩康

当日、早朝車で富士宮を出発した。宮田先生他、緒先生と同席の昼食は何を話して良いか戸惑いの内に済ませた。アウンの会の民謡講習会では楽しい一時を過ごしました。夜のコンサートでは大編成の合奏に目を見張りました。プログラム最後の民謡では声が哽れる程歌いました。二日目は、福嶋先生の作曲講座です。良い曲を作ろうとする思い入れが大事。良いメロディとは覚え安さが大切等々教えて頂きました。



刺激のある合宿でした。

阿吽の会・小倉志郎

めったに参加できない邦楽の合奏講習会に参加することができ、且つ、みなさんの演奏の音色美しさに魅了され、刺激のある合宿でした。これからも、心を打つ音色の演奏ができるように稽古に励みたいと思います。私たちのようなもっぱら民謡尺八にいそしむ会のメンバーに民謡を吹かせてくださり、とても楽しい合宿でした。心より感謝を申し上げます。



編集後記

不慣れなパソコンとにらめっこの編集業務でしたが、全国の会員の皆様から寄せられる活動報告からパワーをいただき、完成までたどりつくことができました。 a. y.

平成28年度決算書

H28, 4, 1～H29, 3, 31

単位:円

科目	決算額
【経常収入の部】	
会費収入	1,183,000
事業収入	4,593,880
寄付金収入	0
雑収入	5,002
経常収入合計	5,781,882
【経常支出の部】	
事業費	4,160,631
管理費	1,620,837
当期収支差額	414
経常支出合計	5,781,882

各地での演奏会参加情報や活動の様子をお送りください。ブログ、Facebookにてお知らせさせていただきます。

ブログ <http://ameblo.jp/hougakunet/> Facebook <https://www.facebook.com/hougkunet.pr>